

目次

1	コスト管理の重要性	1
2	商流とアカウンティング	3
3	損益計算書の構造	5
4	原価計算.....	16
5	個別原価計算.....	31
6	総合原価計算.....	36
7	損益分岐点分析.....	52
8	生産性分析.....	63
9	費用構造チェック	68

1

コスト管理の重要性

1. コスト管理

コスト管理とは、企業活動に伴う費用の無理・無駄を排除し、収益性の向上と事業の持続可能性を確かなものとするためのプロセスです。

製品やサービスの提供にはさまざまなコストが伴いますが、それを詳細に把握し、適切に管理することは、事業環境整備において欠かせないテーマです。

コスト管理は、単にコストを削減することだけを目的とするのではなく、企業が持続的・安定的に価値を提供するために限られたリソースを効率的に活用する仕組みを作ることを意味します。

2. コスト管理の分類

コスト管理は、次の4項目に分類することができます。

(1) 収益性の維持・向上

企業活動は、設備と人を活用し、売上を計上し、利益を生産することです。その中でコスト管理の分野は、設備にかかるコスト、人にかかるコスト、外部を活用するためのコストに分類されます。そのためには、これらのコスト構造を正確に把握し、最小化することが、収益性にスポットを当てたコストコントロールです。同時に、売上高の向上に伴うコストアップも適正化しなければなりません。

(2) 競争力の向上

価格競争が激しい中で勝ち抜くためには、差別化や廉価販売を余儀なくされることがあります。差別化は、商品やサービス、販売エリア、販売顧客を新たにすることであり、そのためのコストが必要になります。一方、廉価販売は、結果として利益率低下の要因になります。このとき、コストが最小化できていれば利益率に余裕があり、価格競争に負けない体質を構築できていることになります。

(3) リスクの抑制

費用には、低リスクな費用と高リスクな費用が存在します。コストが増減する場合、どちらの増減なのかによりリスクおよびリターンが変わってきます。つまりコストカットをする場合、カットするコストによりリスクを抑制する度合いが異なり、売上の減少局面なのか上昇局面なのかによって、効果が変わってきます。これらを的確に判断する技術が必要になります。

(4) 成果分配

企業活動は、設備と人を確保して、営業利益の最大化を目指します。つまり、設備にかかる費用および人のコストは企業活動必須のコストであり、企業活動の成果を設備費、人件費、営業利益に分配することによって、事業活動が成立しています。この場合、設備分配、労働分配、利益分配のバランスをどうとるかは、重要な経営命題です。

3. コスト管理の全体像

コスト管理は、企業活動のあらゆる場面で重要な役割を果たします。単なる経費削減ではなく、収益性を高め、競争力を維持し、リスクを最小化しリターンを最大化することが重要です。さらに従業員のモチベーションアップをも包括したアプローチです。

損益分岐点分析および生産性分析を活用した営業利益の最大化を着地点としています。